

時刻表示の方法にはまだまだ 新しい可能性が残されています

サイクロスの時計のリ
ユウズを回して時刻を進
め、長さを変えながら回
転する短針をみたとき、
針に意思があるかのよう
な錯覚を覚える。サイク
ロスの登場は時刻表示の
固定概念を覆すものであ
った。通常、12時間表示
に慣れている我々には24
時間表示の短針の位置を
瞬時に読み取ることはむ
ずかしい。しかし1日は
24時間であり、文字盤上
でそれが表現されていた
方が理にはかなっている。
12時間表示ではAM(ante
meridiem)、ラテン語で午
前の意)あるいはPM(post
meridiem)、ラテン語で午
後の意)とつけることで
昼夜の別を認識すること
になる。ジョン・クリス
トフ・イメルは24時間表
示を合理的で読みやすく
表示する方法はないかと
考えた。そこで考案した
方法が二重になった円周
上を短針が長さを変化さ
せながら回転するという
ものだった。

「私はエンジニアであり、
建築家、デザイナーです。
1986年から時計のデ
ザインに関わり、新しい
時刻表示の方法がないも
のかと考えていました。
当時、色で時間を表示す

CYCLOS サイクロス

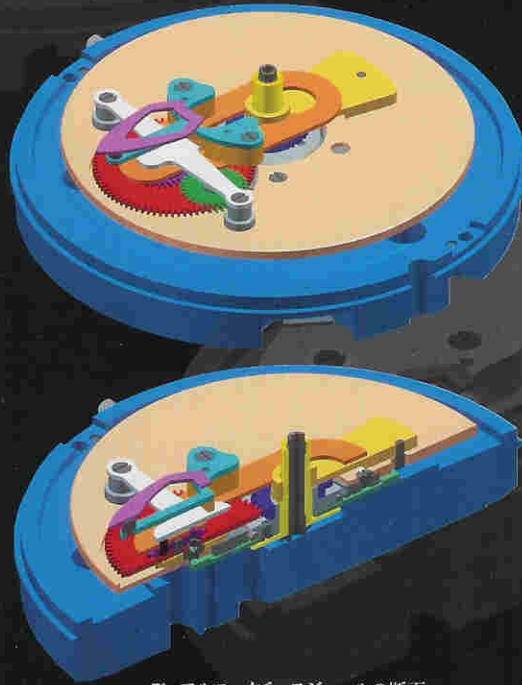
るクロマクロンという時
計があり、これを研究し
ているうちに、24時間を
昼夜のふたつのサークル
で表示することを思いつ
いたので。そして89年
にサイクロスのアイデア
が生まれました。しかし
現実のものとするには10
年を要しました。どの時
計メーカーも作ることが
できなかったのです」

こうして2000年、
彼は前出のステファン・
フォーシイとロベール・
グルーベルのコンブリタ
イム社創設前夜に協力を
求めた。彼らの技術開発
力を得て、2001年の

バーゼルフェアでサイク
ロスはまったく新しい時
間表示である「24デュア
ルフエイズ・ディスプレイ」
を備えた「パスカル24デ
ユアルフエイズ」でデビ
ューを果たした。

「サイクロスは、あなた
には必要ないもの、でも
欲しくなるもの」です。
時間表示にはまだ新しい
可能性があると信じてい
ます。2000年にサイ
クロスを創業し、現在、
年産300個です。まあ、
ゆっくりと伸ばしていき
ますよ」と語る。次は
GMTモデルを目指すが、
発表予定は2006年だ。

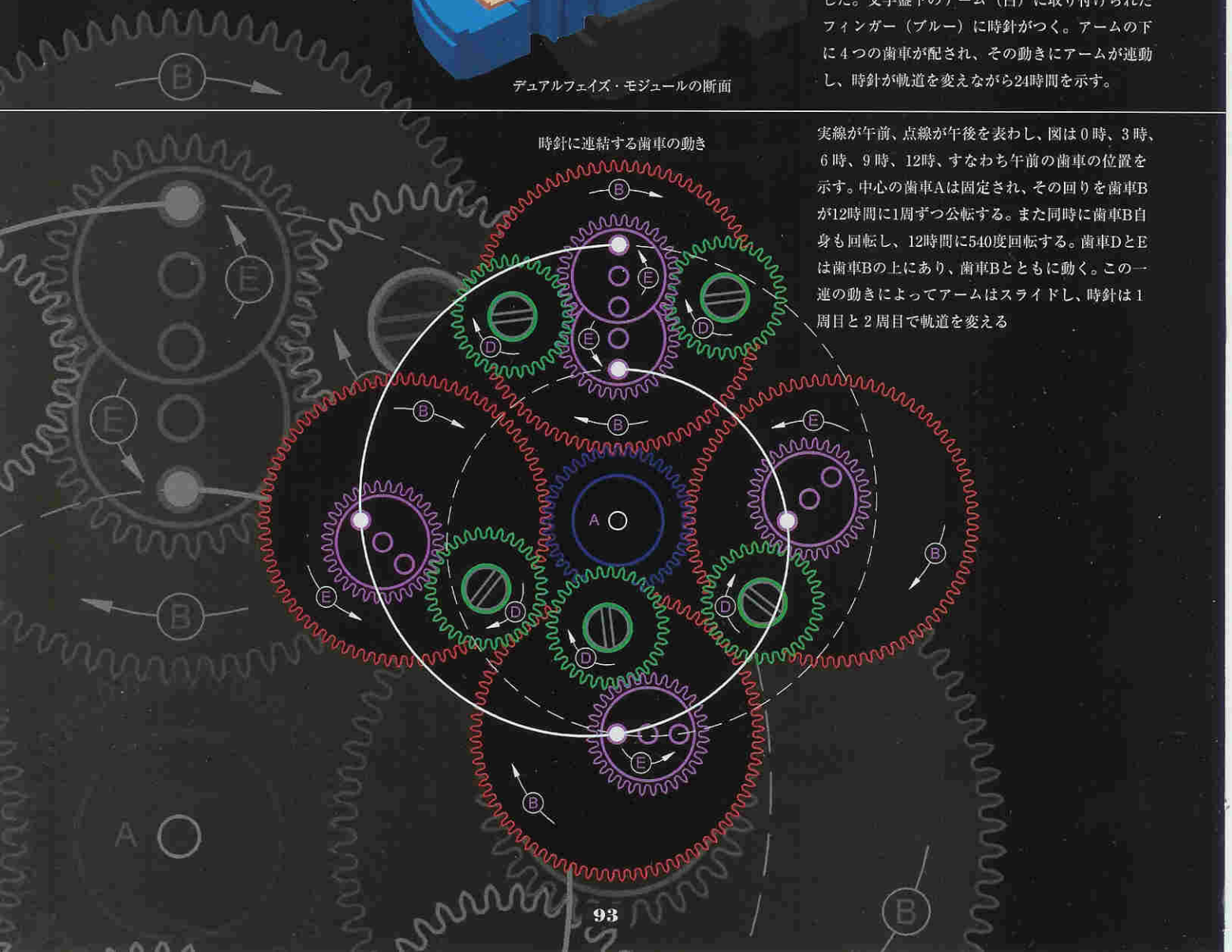
デュアルフェイス・モジュール



デュアルフェイス・モジュールの断面

サイクロスの創業者であり、デュアルフェイスの考案者であるジョン・C・イメルは1999年にこの機構でスイス特許を、その翌年には国際特許を取得した。文字盤下のアーム（白）に取り付けられたフィンガー（ブルー）に時計がつく。アームの下に4つの歯車が配され、その動きにアームが連動し、時計が軌道を変えながら24時間を示す。

時計に連結する歯車の動き



実線が午前、点線が午後を表わし、図は0時、3時、6時、9時、12時、すなわち午前の歯車の位置を示す。中心の歯車Aは固定され、その回りを歯車Bが12時間に1周ずつ公転する。また同時に歯車B自身も回転し、12時間に540度回転する。歯車DとEは歯車Bの上であり、歯車Bとともに動く。この一連の動きによってアームはスライドし、時計は1周目と2周目で軌道を変える



自動巻きキャリバー、ETA2892-AベースのCW1。
COSC認定クロノメーター。毎時2万8800振動。
パワーリザーブ約42時間。24時間表示。ケース・
サイズ直径39.0mm、厚さ12.8mm。18Kイエローゴー
ルド。5気圧防水。価格197万4000円

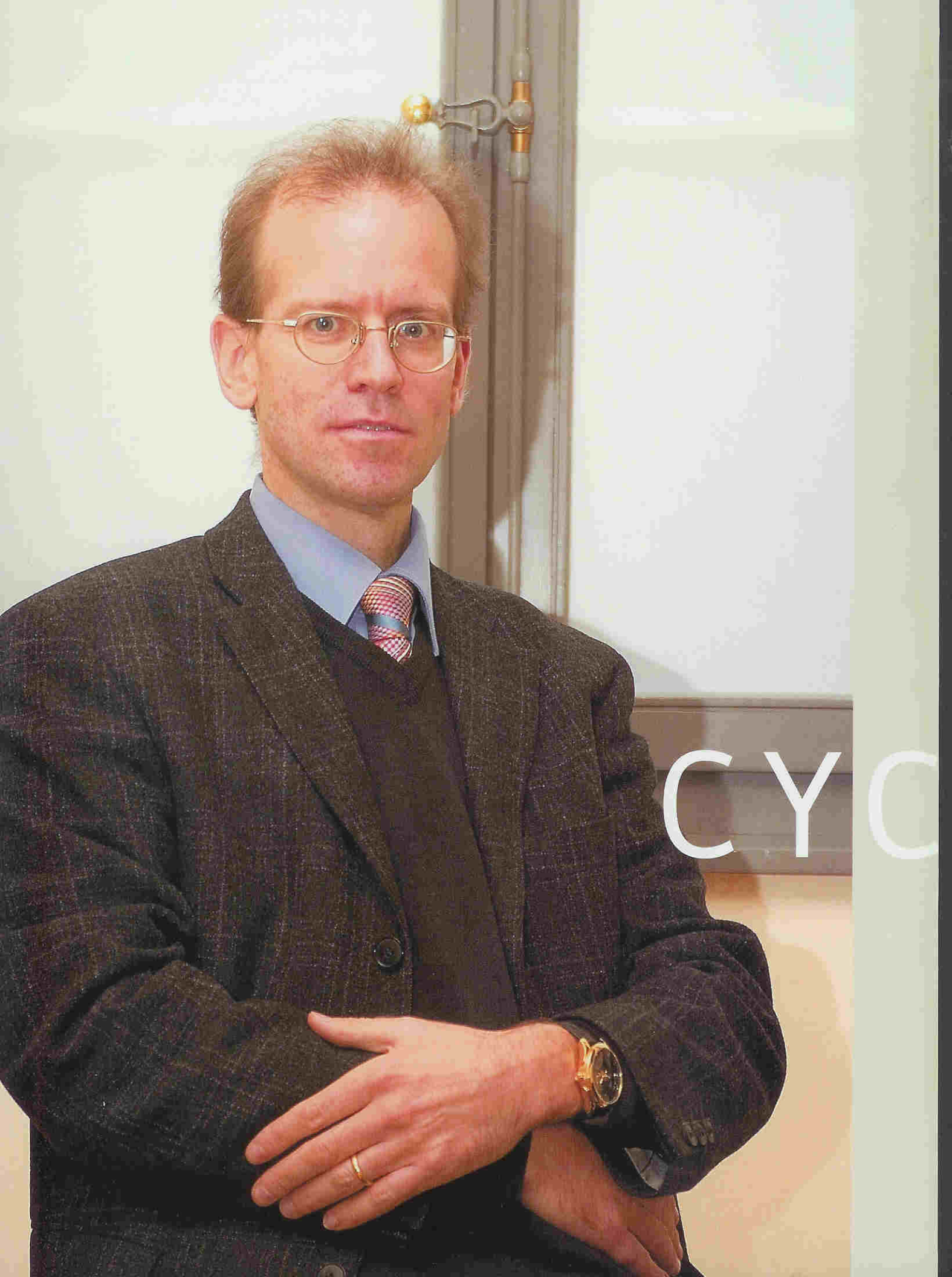


バスカル24デュアルフェイス ウォッチ トランスパレント

自動巻きキャリバー、ETA2892-AベースのCW1。
COSC認定クロノメーター。毎時2万8800振動。
パワーリザーブ約42時間。24時間表示。ケース・
サイズ直径39.0mm、厚さ12.8mm。18Kイエローゴー
ルド。5気圧防水。価格144万9000円

バスカル24デュアルフェイス ウォッチ エレガント





CYC